

# Lynzo vol.6

りんぞー Library for Your Networking ZONE

巻頭特集  
対談

## ステキな仏教美術

解説  
特集  
コーナー

## 近代仏教の魅力

Lynzo  
名画座

『シャレード』

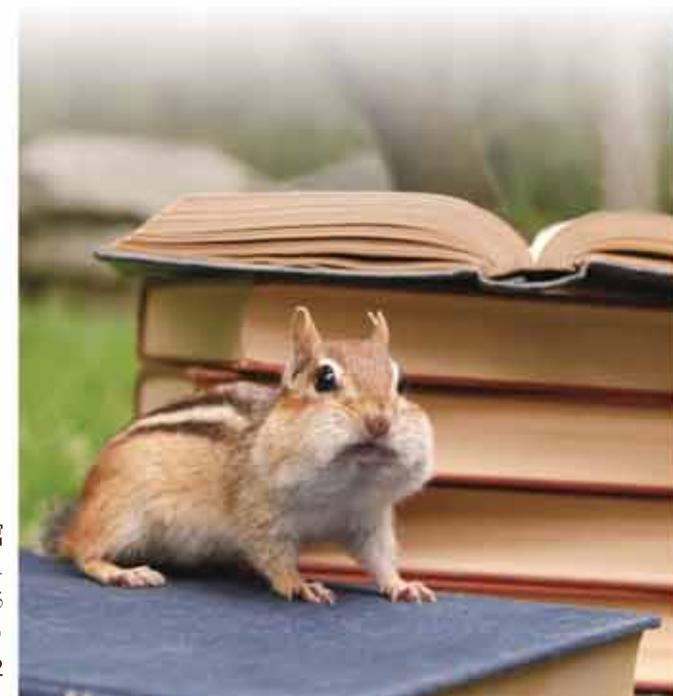
先生が選んだ  
この  
一冊

『兎の眼』 灰谷健次郎著

教育学部教育学科 准教授  
山口孝治先生



あっという間に  
こんなに  
読んじゃった



佛教大学図書館  
〒603-8301  
京都市北区紫野北花ノ坊町 96  
電話：075-491-2141 (代)  
FAX：075-493-9042

- 1 **巻頭特集** 対談「ステキな仏教美術」
- 4 **解説** 特集コーナー「近代仏教の魅力」
- 6 **Lynzo名画座** 「ジャレード」
- 9 **先生が選んだこの一冊** 「兎の眼」 山口孝治先生
- 10 **ささぶかる!** 「大衆食堂パラダイス!」
- 12 **Pop up lib** 特集コーナー  
新しくなったポータルサイト  
りんぞーくんのおしゃべり  
開館カレンダー
- 13
- 16
- 17

Whisper  
本のささやき

「あの当時、僕は主として雪月花と花鳥風月とを、  
その時その時でいい加減に使ったんだよ」  
内田百閒『贗作吾輩は猫である』

“吾輩”こと猫のアビシニヤを飼っている五沙弥氏は、元ドイツ語教師。教師時代に生徒の書いた作文に優劣をつけず「雪」や「月」という風流な一字を与えていたとのこと。吾輩も圧倒される変わり者です。五沙弥氏と、五沙弥氏宅に次々と訪れる教え子たちや知人との間で交わされるでたらめでバカバカしい会話のなかで、12のエピソードが語られます。五沙弥氏の発する言葉は過激でありながら、どこか哲学的で、そこに読者は魅せられます。本作は、夏目漱石『吾輩は猫である』の猫が、水がめに落ちたが実は生きていて、後年、五沙弥氏宅に現れる場面から始まります。夏目漱石を師と仰ぎ、猫を愛してやまない百閒らしい作品です。

内田百閒  
1889年誕生。小説家、随筆家。得体の知れない恐怖感を表現した小説や、独特なユーモアに富んだ随筆などを得意とした。主な作品は『百鬼園随筆』、『阿房列車』。

# ステキな仏教美術

仏像、曼荼羅、庭園、伽藍……、  
仏教を彩る祭具や建造物を目の前にしたとき、  
長い歴史のなかで洗練されてきた美と  
歴史や文化が香る閑寂さに  
心奪われた経験が、  
誰しも一度はあるのではないのでしょうか。

惹かれるところは人それぞれに異なっても、  
見る者の胸を打つ何かがそこには存在するようです。  
そこで今回は新春特別企画として、

歴史学部歴史文化学科教授の  
小野田俊蔵先生と安藤佳香先生に、  
仏教美術について語り合っていました。



## 仏教美術ってナニ?!

小野田先生・「仏教美術」と聞くと、  
一般的には曼荼羅や仏像のイメージが強いように感じますが、仏教信仰に基づいて作られた造形美術全般を指して仏教美術と呼びます。そのため、堂塔伽藍や庭、仏画、仏具すべてが仏教美術なんです。安藤先生・2009年、興福寺の阿修羅像が東京国立博物館で公開され、仏像に関心を持った若い女性たちがマスコミに取り上げられてからは、とくに仏像「仏教美術」という傾向が強くなった気がしますね。

小野田先生・仏教美術は元来「悟りの要素」をダイレクトに人々に伝えるために作られたものです。簡単に仏教美術の歴史を辿ると、釈尊の遺骨(舍利)を納めた仏舎利塔の玉垣の彫刻が最初といわれていますが、その後、\*ガンダーラ王朝で釈尊の伝記の場面や、礼拝用の正面向きの立像などが作られはじめ、大乘仏教の隆盛とともに仏・菩薩像が多く制作されるようになりまし。その後、ヒンドゥー教に圧迫された仏教ではヒンドゥー教の要素を取り込んだ「密

\*ガンダーラ…古代インド北西部の地名。現在のパキスタンのパシャワール周辺。クシャン朝の2世紀から3世紀を中心に、西方のギリシャ文化などの影響を受けた仏教美術(ガンダーラ美術)が栄えた。『デジタル大辞泉』

教」が発展、修行で使用される師資相承の複雑な図像の影響を受けて曼荼羅が誕生しました。ただ、残念なことにイスラム教徒がインドに侵攻して後、インドでの仏教は下火になり、仏教美術の創出もほとんどみられなくなりました。

**安藤先生** ●インドで仏教が衰えても、すでにアジア各地に仏教が伝播していたので、仏教美術が失われることがなかったのは幸いですね。たとえば、インドシナ半島では大乘仏教以前の仏教、チベット文化圏では後期の密教を主体とする仏教、日本には大乘仏教と中期の密教が混交する仏教が広まっていた。そして、伝わったそれぞれの地で、土着の信仰や文化と結びつき、仏教美術が独自に発展していったことは興味深い事実だと思います。

## 仏教美術の魅力

**安藤先生** ●私は幼いころから仏教を観るのが大好きで、それが高じて研究者になったのですが、小野田先生は何がきっかけでチベット仏教美術に傾倒されたのですか？



## 小野田先生のおすすめの一冊

『タンカの世界 チベット仏教美術入門』

田中公明（著）（山川出版社（2001））  
仏教の世界観を示すコスモグラム「曼荼羅」。インドに生まれ、チベットに伝えられた「タンカ」（軸装仏画）の神秘的な世界も、羅漢や毘沙門天など馴染みの深い神仏に彩られている。貴重なコレクションにより、明らかにされるチベット仏教美術の世界。

**小野田先生** ●もともと仏教学を研究していたのですが、研究を進めていくうちにチベットへ赴く機会を得たんです。現地でもチベット仏教に触れ、独自に発展した後期密教の教えや独特な色彩、形状を持つ仏教美術に魅せられました。安藤先生は仏像のどういうところに魅力を感じられたのですか？

**安藤先生** ●仏像の種類には二種類あり、一つは基本を忠実に彫り上げる「図像仏」、もう一つは自分の中にある仏を描く「感得仏」です。私の場合、感得仏の個性的な表現に関心を持ちました。感得仏は特に秘仏とされているものが多いのですが、作者が像のなかに込めた想いが時を越えて何かを訴えかけているように思え、2時間くらいは余裕で眺められます（笑）。とくに神護寺の薬師像の迫力は得も言われぬものがあった、若い頃には虜になっていました。学生の皆さんにも一度は触れていただきたいですね。

**小野田先生** ●迫力というと、チベットの仏さまに「ヤマーンタカ（「ヤマアンタカ）」という仏さまがいて、直訳は「死神ヤマ（閻魔）」を減ぼす者」という意味です。名前も怖いですが、姿も水牛の顔に多面

多臂多脚という恐ろしい姿なんですよ。実はこの仏様が生まれた逸話がチベット仏教のタントラ説話にあつて、大変に示唆深い。

**安藤先生** ●日本では大威徳明王と呼ばれる仏様ですよ。私は古い時代のものを専門にしているのですが、チベットの仏教には、あまり触れる機会がなくて……。どんな逸話かすごく興味があります。

**小野田先生** ●もともと優秀な修行僧だったヤマが、悟りを開くための深い瞑想中に盗賊たちに襲われて、側にいた水牛ともども首を刎ねられてしまいます。致し方なく水牛の首を拾って自分の胴体に繋げたヤマの怒りは凄まじく、盗賊たちを皆殺しにしました。しかし、それだけでは怒りが治まらず関係のない人々をも無差別に殺す悪鬼に成り果ててしまふんです。これに困った人々が文殊菩薩に助けを求めたところ、その悪鬼と同じような牛面で、悪鬼以上の武器を持った姿に変身して戦い、悪鬼を倒します。その時の文殊菩薩の姿が「ヤマーンタカ」なんです。本当に怖い姿ですが、多くある顔のなか一つだけ慈悲の表情の顔があります。ヤマのために優しさで論

すのではなくあえて厳しさに応える文殊菩薩の姿は、人間を導くための極意が秘められているような気がします。

## 見て触れてはじめてわかる

**小野田先生** ●ある学生が、授業中に多くの仏の顔をタテに連ねたような落書きをしていました。学生に「それは何？」と訊いたら「私の中にある仏様のイメージ」だと言います。先ほど安藤先生のおっしゃった一種の「感得仏」ですよ。でもまさしくそんな形態の仏様「ハリハリハリヴァーハナ」がネパールに存在するんです。それを学生に教えて写真を見せたところ、すごく興味を持ったようでした。彼女にとってはその姿が「仏」であり、その姿を観ることで彼女のなかの何か活性化されたんだと思います。

**安藤先生** ●私も似たような経験をしたことがあります。歴史学を学んでいたのですが、以前は文字と文献から日本で作られた一本彫の仏像を調べていたんですが、調べてい

※タントラ…中世インドに成立した後期密教聖典の称。また、密教経典の総称。「一仏教」「デジタル大辞泉」

## 安藤先生のおすすめの一冊

『続・仏像のひみつ』  
山本勉（著）（朝日出版社（2008））  
異例のベストセラー『仏像のひみつ』の続編。  
仏像に関わる4つの「ひみつ」で奥深い世界をご紹介します。「仏像そっくりの日本の神さまがいる」「仏像ってじつはとってもおしゃれ」など国宝と重要文化財を含む、博物館やお寺では見られない貴重な写真が満載です。



歴史学部  
歴史文化学科  
安藤佳香先生

館の常設展では様々な時代の様々な種類の仏像が展示されています。しかも無料で入れますから、デートで行ってみたいと思います。

**小野田先生** ●それ、面白いですね！恋人同士で奈良博や三十三間堂に行ってたくさん仏像を観て、「私の仏像が好き」とか「僕はこっちの仏像がいい」とかお互いに感想を語り合えば、上辺だけでなくお互いをもう少し深いところまで知ることができるといいですね。

**安藤先生** ●ヨーロッパの宗教絵画を美術館に観に行くのと同じ感覚でいいと思います。仏像の名前を知らなくても、何を司っている仏像かわからなくても、好きだと思ふ仏像を一体持つてゐることは、自分を高め、活性化する方法だと思います。

**小野田先生** ●たくさん仏像を観て、静かな美しさに気づいたり、激しい怒りのなかにある慈悲に気づいたり……。それがこれから学生のみなさんが歩む長い人生で壁にぶつかり、閉塞感に襲われた時にふと救いの手を差し伸べてくれる光になるのではないかと、私は思います。



歴史学部  
歴史文化学科  
小野田俊蔵先生

# 近代仏教の魅力



図書館の1階カウンター横に設けられた「特集コーナー」では、毎月テーマを設定し、そのテーマに関連する図書を展示・貸出ししています。3月のテーマは「近代仏教の魅力」で、当館が所蔵している近代仏教に関する図書資料を展示する予定です。そこで今回は、社会学部現代社会学科准教授の大谷栄一先生に現在の仏教の基盤となった近代仏教についてお話をうかがいました。

——どのようにして「近代仏教」は生まれたのでしょうか？

**今** でこそ世界三大宗教として認知され、洋の東西を問わず信者や研究者がいる「仏教」ですが、ほんの200年前には西洋でブッダの存在を知る人はごく僅かでした。仏教が世界に知れ渡るようになった要因のひとつは、西洋の近代国家によるアジアの植民地化であることは否めません。たとえば大英帝国の植民地行政官がもたらしたサ

ンスクリット語文献をもとに、フランス人東洋学者がインド仏教史の著作を刊行しました。西洋での仏教研究は19世紀半ばに盛んになり、それ以降、西洋でも仏教が広く知られるようになりました。日本における「近代仏教」の萌芽は、幕末に見出すことができます。江戸時代の伝統教団は寺請制度による公的機関の役割を果たしていました。しかし、開国を求めた西洋列強と対峙するなかで、伝統仏教の存在意義が問題視され、仏教界は廃仏論に対する護法論、尊王論に立つ護国論、キリスト教に対する防衛論を打ち出し、当時の状況に対応していきました。

しかし明治維新を迎えると、西洋文明は近代国家の規範として受

体系的を学ぶことで仏教学を樹立し、仏教を学問

的な視点から見直すことになりました。「近代仏教」のグローバル化の顕著なものが明治26(1893)年に、シカゴで開催された世界初の世界宗教会議です。世界中から数千人以上が参加し、仏教やヒンドゥー教など東洋を基盤とする宗教も招聘されました。日本からは釈宗演(臨済宗円覚寺派管長)、土宜法竜(真言宗高野山派)、芦津実全(天台宗)、八淵蟠竜(浄土真宗本願寺派)、平井金三(英学者)、柴田禮一(神道・実行教管長)、小崎弘道(日本キリスト教団)らが出席。はじめて、「東方仏教」を世界に紹介し、多くの人々に大きな反響をもたらしました。

もうひとつ大きな特徴は、キリスト教の福祉活動に模範を得た「社会貢献」を打ち出したことです。明治という一大変革期において、政府は「貧・病・争」をはじめとする社会問題を先送りにし、西洋列強に並ぶための富国強兵策に注力していました。そこで仏教は政府が切り捨てた人々の身近な苦しみを救うべく、救貧活動

や医療保護などの活動に従事しはじめました。有名な仏教学者で浄土宗僧侶の渡辺海旭は、「社会事業」という言葉を早くから用いて実践した、仏教界における社会福祉の先駆者です。彼は「大乘仏教には労働問題も、社会問題もある、皆世を救い人を利するものは皆仏教である。ハンマーの音、シャベルの音、油じみた労働服の働きの中にも、大乘仏教は存在するのである」と述べ、仏教者が積極的に社会と関わりを持つて人々の苦しみを解決するべきであると主張。その思想は今でも仏教界に強く根付き、昨年起きた東日本大震災においても、早い時期から僧侶たちがボランティア活動に入り瓦礫の撤去などを行うと同時に、彼らにしかできない、亡くなった人への弔いや生き残った方々の心のケアにも尽力している姿が見られました。

——近代仏教の魅力とはなんでしょう？

**近** 代仏教はグローバル的な視点、社会的な視点、歴史的な視点などさまざまな視点から研究できます。さらに言えば現代

け入れられ、明治政府は神道、天皇中心の国家形成を進めます。反面、仏教には神仏分離令や上地令という形でそれまでの特権が剥奪され、仏教界は精神的、物質的、経済的に甚大な被害を被りました。国家の保護を失った仏教は存続の危機を迎えました。仏教を守るべく時代の流れに沿った変革を迫られ、新しい視点に立つて人々を教化する「近代仏教」が誕生しました。

——日本における「近代仏教」とはどのようなものでしょうか？

**明** 治維新から太平洋戦争まで呼びます。廃仏毀釈を乗り越え、西洋の学問を受け入れ、キリスト教の影響を受けた仏教者たちの改革運動によって、明治20年代以降に形成されました。

「近代仏教」を語るうえで重要なのは、「世界」を意識したものであること。開国して世界が身近になり、新しいモノや思想、学問形態が流入するなかで、それらを踏まえて、日本独自の文化をグローバルな視点から発信する傾向も出てきました。仏教界でも僧侶たちが進んで西洋に留学し、西洋の学問

を理解する上でも、近代のさまざまな社会問題に対応してきた「近代仏教」は多くの鍵を握っているといえます。たとえば高度成長期には表面化しなかった「無縁社会」問題が、ここ最近浮上してきましたが、解決の糸口を見つげるための試みが仏教者たちによってなされています。高度経済成長による社会変動によって、地域コミュニティが衰退し、人と人との交流が減少しました。そこで、寺院を葬式や法要だけでなく、座禅や写経など精神修養の場としてほもちろん、コンサート会場やさまざまなイベントの場として地域に開放し、人々が集う新たなコミュニティ形成に取り組んでいる寺院もあります。また、インターネット上でのつながりを模索している仏教者たちもいます。

近代仏教は、身近な地域コミュニティから、社会的・グローバル的視野での仏教のあり方までを考察することができる研究対象です。佛教学の図書館には、日本国内有数の近代仏教関係の資料があります。ぜひ、興味を持ったテーマがあれば、それらの書籍をひも解いてほしいですね。



おたにえいいち  
**大谷栄一** [社会学部現代社会学科准教授]

1968年東京都生まれ。東洋大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程修了。博士(社会学)。専門は宗教社会学、近現代日本宗教史。

# Lynzo 名画座



## シャレード

哀愁のパリを舞台に  
美しきヒロインが謎解きゲームのように  
運命の糸に操られてゆく

朝霧のなかを走るパリ⇨ボルドー線の列車から男の死体が、線路わきに投げ捨てられた。

場面は一転して、フランスのメジエーブ。レジーナ・ランパート(オードリー・ヘップバーン)は、友人のシルビーとその息子ジャン＝ルイとともに休暇を過ごしていた。夫のチャールズに秘密があり、それが悩みで離婚を考えているレジーナ。シルビーとそんな話をしているとき、見知らぬ男が、いたずらをされたと言ってジャン＝ルイを連れてくる。男はピーター・ジョシユア(ケーリー・グラント)と名乗った。レジーナは彼に惹かれるが、パリへ帰るところだと言って去ってゆく。

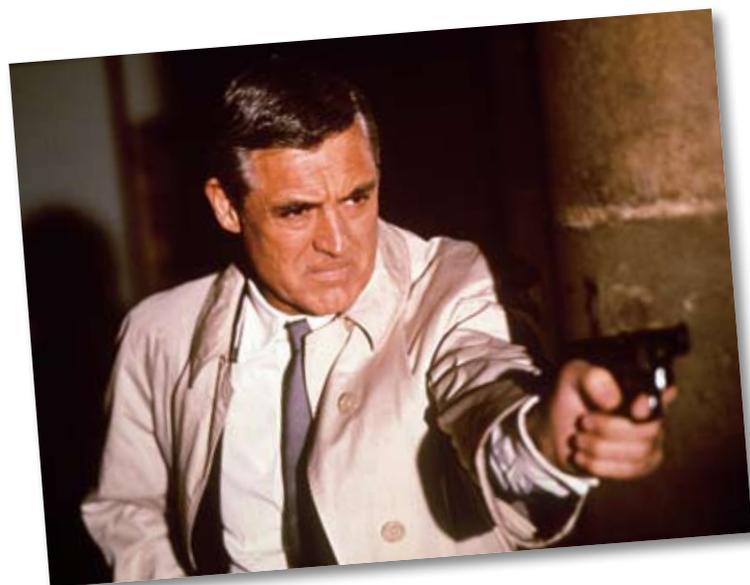
パリに戻ったレジーナは、自宅の扉を開けたとたん、家財道具すべてがなくなっているのを目の当たりにし茫然とする。そこへ現れたのはパリ警察のグランピエール警部で、彼はレジーナに同行を求めたのだ。彼女が連れて行かれたのは死体安置所で、そこには変わり果てた姿のチャールズが横たわっていた。

ショックを受けているレジーナに追い打ちをかけるように、警部はチャールズが家財を競売して、25万ドルを手にしフランスを出国しようとしていたこと、列車から見つかった遺留品の中には、その金が見当たらなかったことを説明する。その上レジーナは夫がいくつものパスポートを所持していたことを見せられて、ますます困惑していくのだった。

がらんとした部屋で沈みきっているレジーナの前に、ピーターが現われ、一文無しで住

むところもなくなった彼女をホテルまで送り届ける。

チャールズの葬式には参列者もなく、レジーナと、シルビーのほかは、グランピエール警部だけだった。そこへ神経質そうな初老の男ギデオ(ネッド・グラス)、見るからに冷酷そうなテックス(ジュームズ・コバーン)、義手の大男スコビー(ジョージ・ケネディ)が次々と現れる。翌日の昼、アメリカ大使館に呼び出されたレジーナは、CIAのエージェントと名乗るバー



ソロミュー(ウォルター・マッソー)に会い、彼の口からチャールズの本名はボスで、第二次世界大戦中に公金を横領した罪で、アメリカ政府から手配されていたことを聞かされる。おまけに葬式にやってきた男たちも、彼が横領し家財道具に変えてしまった25万ドルを目当てに彼女を狙っているとも言い、何かあればいつでも自分に連絡を取るようにと念を押すのだった。

レジーナを元気づけようとして、ピーターは彼女をパーティに連れて行くが、そこにはギデオンがいてレジーナを脅迫する。早速バーソロミューに電話をかけようとする彼女を、今度はテックスが、金を返せと脅すのだった。

バーソロミューから、話せば命が危ないと言われていたレジーナは、ピーターにも脅された理由を明かせないでいた。部屋のドアを開けたレジーナは、彼女の部屋で金を探していたスコビーと鉢合わせ、義手で殴りかかってくる彼の一撃をかわして、階段を帰ってゆくピーターに助けを求めるのだった。

その声を聞いて、部屋に飛び込んだピーターはスコビーと格闘するが、彼を取り逃がしてしまふ。そして窓からバルコニーづたいに追いかけ、ギデオン、テックスがスコビーの行為を非難し言い争っている現場を見つけ乗り込んでいった。

ところが、三人の部屋に入ったピーターは、彼らに向かって「彼女は俺を信用してるんだ。邪魔しないで俺に任せろ」と言うのだった。実はピーターも彼らの仲間で、レジーナに近寄って金の在り処を突きとめる役を引き受けていたのだ。

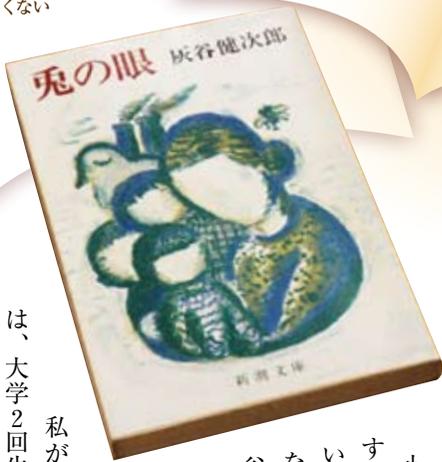
その後、うまくレジーナのところに戻ったピーターは、彼女から25万ドルの一件を聞き出すのだが、そこに彼と反りが合わないスコビーが電話をかけてきて、彼女に「その男はダイヤルといい、彼も金を狙っているのだ」と告げるのだった。

せっかく信用できる人物と見込んだピーターまでもが、偽名を使って自分に近づいてきたのか、レジーナの疑惑はますます深まるばかり。果たして、彼女はこの難局を無事切り抜かれるのか？ チャールズを殺したのは誰なのか？ ピーターはいったい何者なのか？ そして25万ドルの行方は？ 謎は謎を呼んでゆくのだった……。

この映画の原作はピーター・ストーンで、この作品の脚本も彼がマルク・ベームと共同執筆しています。彼は脚本家で、ほかに『脱走大作戦』（1968年）や『サブウェイ・パニック』（1974年）などを執筆しています。

監督はスタンリー・ドローンで、ジーン・ケリー主演のミュージカル映画の傑作『雨に唄えば』（1952年）、フレッド・アステアの見事なダンスが映える『パリの恋人』（1957年）などの名作のメガフォンをとっています。彼はこの『シャレード』で気をよくしたのか、1966年に『グレイ・ベックとソフィア・ローレン主演で』『アラベスク』というサスペンス作品を監督しています。さて、レジーナを演じたオードリー・ヘップバーンについては、詳しく説明することもないでしょう。彼女は『ローマの休日』（1952年）でアカデミー主演女優賞に輝き、その後スピル

先生が選んだ  
この一冊



## 『兎の眼』

小学校の教員を目指す方は、既に読んでいないでしょうか。灰谷健次郎の作品は、教員を目指す学生には定番になっているものが多いですね。

私がこの本を読んだのは、大学2回生の時でした。それまで、高等学校（保健体育科）の教員になりたくて、小学校の教員への関心がまったくなかった自分にとっては、この作品との出会いが小学校教員への憧憬を強く抱ききつかけになりました。

それまであまり本を読まなかった自分が、何かに引き込まれるように一気に読破したことを覚えています。新任の女性教師である小谷先生が、数々の苦難にぶつかりながらもそれらを克服して成長していく物語。

このページで紹介した映画『シャレード』（1963年作品）と原作は図書館に所蔵しています。

映画はジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社のもので使用しました。



作品名：シャレード デジタル・リマスター版 ブルーレイ・コレクターズ・エディション【初回生産限定】 / Blu-ray 発売元：コムストック / Blu-ray 販売元：パラマウント ジャパン / 価格：4,179円（税込） / 発売日：2012年01月20日発売（予定）  
© Universal・Lobster Films・National Film Museum © DR/Lobster

バグ監督の『オールウェイズ』（1989年）を最後に引退するまで、数多くの作品に出演し、様々な役を演じてきました。引退後はユニセフ親善大使として活躍したことも有名です。

ピーターを演じたケリー・グラントは、アルフレッド・ヒッチコック監督の『泥棒成金』（1955年）や『北北西に進路を取れ』（1959年）などに主演している名優です。

テックス役のジェームズ・コバーンは、『荒野の七人』（1960年）、『大脱走』（1963年）などでも存在感のある脇役をこなしていました。スコビー役のジョージ・ケネディは、『大空港』（1970年）に始まるエアポートシリーズで、パトリックを演じた続けたほか、森村誠一原作の『人間の証明』（1977年）にも出演しています。

そして、パトリック役のウォルター・マッソーは、ニール・サイモンの戯曲を映画化した『おかしな二人』（1968年）でひょうきんな中年男を演じたり、『マシンガンパニック』ではシリアスな役をこなしたりできる演技派です。

今回のとっておきは、映画のオープニングタイトルの渦巻きが、カラフルに回ってゆくのが印象的です。このタイトル・デザインはモーリス・ピンダーで、鮮やかな色使いに特色があります。彼は『太陽がいっぱい』（1960年）、『さよならをもう一度』（1961年）、『ラスト・エンペラー』（1987年）など多くの作品を手掛けています。とくに、『007』シリーズの女性のシルエットによるタイトルバックが有名です。

物語の背景となっている小学校が立地する地域は多くの社会的問題を抱えており、そこで生活している子どもたちも多様な問題を抱えています。こうした子どもたちや子どもたちを取り巻く保護者や地域に対して、教師が協力して

描かれています。主人公の小谷先生も、教師集団だけでなく保護者や地域の方々、そして学級の子どもたちを支えられ、成長していきます。とりわけ、小谷先生に対して、当初は心を開かなかつた鉄三君が、少しずつ打ち解けていくという展開に心を打たれました。

この作品との出会いを機に、様々な教育書を読むようになりまし。実際に小学校教員として勤務すると、作品に書かれていたようなことをみたり、それ以上の現実をみたりと、多様な経験をしました。でも、この作品から感じ取った「子どもたちの愛らしさ」を、身をもって感じられたことは、今

でも自分にとって貴重な財産になっています。

もう小学校の教員ではありませんが、あのとき感じた清々しさやいつまでも忘れずに、教員を続けていきたいと思います。

著者：灰谷健次郎

- プロローグ
- ネズミとヨット
- 教員ヤクザ足立先生
- 鉄三のみみつ
- 悪い日
- 鳩と海
- ハエの踊り
- こじきごっこ
- わるいやつ
- カラスの貯金

発行：株式会社新潮社

- せっしゃのオッサン
- ぼくは心がずんとした
- 波紋
- 鉄三はわるくない
- つらい時間
- 裏切り
- 流れ星
- エピソード

- バクじいさん
- くらげっ子
- くもりのち晴れ
- みなご当番
- 泣くな小谷先生
- さよならだけが人生だ
- ハエ博士の研究
- 赤いヒヨコ
- おさなきゲリラたち
- 不幸な決定



やまぐちこうじ  
山口孝治先生

（教育学部教育学科 准教授）

京都府生まれ。学校教育学博士。京都教育大学教育学部体育学科卒業。神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了（教育学修士）。兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程修了。専門は体育科教育学、学校教育学。

サツカルチャー  
de  
読み解こう部

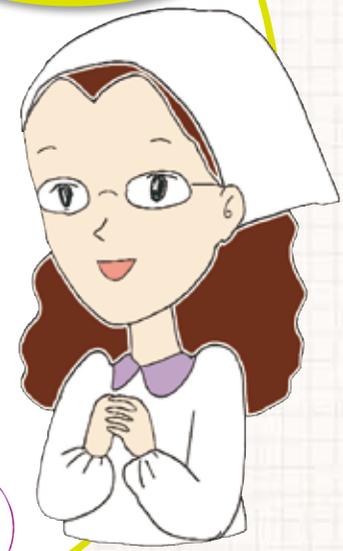
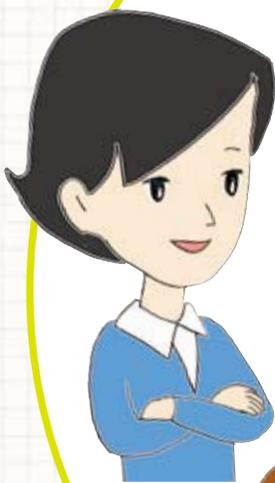
# さぶやる!

## 大衆食堂パラダイス!

下町・のれん・  
昭和チックな  
イメージ。

質問です。  
大衆食堂って  
どんなイメージ?

いろんなメニューが  
雑多でとにかく  
大盛り!!!



最近流行している本や作家、印刷メディアや表現手法。いろいろありすぎて「知りたいけど、調べてもよくわからない!!」ってことがあるよね? 私たち「さぶかる」では、そんな好奇心や疑問を解消するべく日夜活動してま〜す。

よみがえるか!?  
大衆食堂

大衆食堂のメニューは、近代の普通の日本人が何を食べてきたのかを如実に表しています。たとえば、自分の親や祖父父母が何をどう調理して食べてきたのか...、料理史の本をひも解いてもはつきりは残っていないけれど、大衆食堂のメニューのなかに残っています。



ンまで、和洋折衷さまざま。しかし、ハンバーグや牛丼に特化したチェーン店が全国展開し、大衆食堂にとって代わりません。ところが、こうしたチェーン店も30年余りで苦境に陥り、ファミリーレストランで麺類や丼物を出したり、牛丼チェーン店でカレーやうどんをメニューに加えたたりするケースが増え、大衆食堂の形態へと戻りつつあるのは興味深い事実です。

また、最近流行のB級グルメ。これだつて、大衆食堂で食べられたものでしょう。著者の言を借りれば、「大衆食から生活感をひいたものがB級グルメなのです」。

大衆食堂パラダイス

著者の長年の大衆食堂研究の成果がまとめられているこの本。著者が日本各地を回って取材した、味のある店やメニューの紹介もありますが、この本の魅力は「大衆食堂のある生活を楽しむ」ためのガイドであることです。

大衆食堂は普通の飲食店とは違って、赤の他人同士が、密な空間で、日常の最大にして最高のイベントである食事をする場です。



「大衆食堂パラダイス!」  
筑摩書房、2011年9月7日  
遠藤 哲夫 (著)

遠藤哲夫 (1943年~)  
新潟県南魚沼郡六日町 (現南魚沼市) 出身。六日町立六日町中学校を経て新潟県立六日町高等学校卒業、法政大学中退。1971年より食品・飲食店のプランナーの道へ進み、料理評論家の江原恵の影響を受け、江原との共同活動等を行う。1990年代から、大衆食、大衆食堂についての著述業を行うようになる。「大衆食の会」代表。編集プロダクション「アルシーヴ社」監査役。

大衆食堂、  
絶滅の危機

昭和30年〜40年代なら、どこの町にもあった「大衆食堂」。ここには奇をてらったものや豪華な食材を使ったものはありません。普通の「うまいめし」を安く、早く庶民に提供してくれる飲食店でした。

また高度経済成長を支える「金のたまご」として各地から上京し、都会の雑踏のなかで頑張る若者たちを支えたのも、ふるさとの母親が作ってくれるような「大衆食堂」の味でした。そこは昼休みでも、仕事帰りでも、ふだん着のままでも、気楽にのれんをかき分けて入っていきける居心地のいい場所。常連になれば、友だちも増えていきました。

その大衆食堂は、昭和40年代後半以降、ファミリーレストランやファストフード店にとつて代わられ、今では街角にひっそりと営業するのが見受けられる程度になってしまいました。

つまり他人の食事を冒さず、かつ自分の最大の満足を目指す場。それを心の底から楽しむための秘訣がこの中には書かれています。

昭和チックなたたずまいや煩雑な空間、雑多なメニューに、気兼ねなく老若男女が集う大衆食堂。コミュニケーションの少なくなつた現代においては異空間のようにも見えますが、この本をとおしてそれらの魅力に触れてください。「おや天国」にしておくのはもつたいない大衆食堂。ふらりのぞいてみてください。

データベースを使って、貴重な情報を探そう。

その  
3

<http://bulib.bukkyo-u.ac.jp/docs/portal/>

What's database?

レポート・論文に役立つ  
データベースにチャレンジ!

データベースを  
クリック



雑誌・論文を  
クリック



接続をクリック

P15へ

佛教大学論文目録リポジトリは  
本学の先生が書いた論文のデジタル  
ライブラリーなんだ。CiNiiで  
みつからないものもさがせるよ



接続をクリック

P14へ

CiNii はいろいろな  
論文がさがせるよ

# Popup lib

ポップアップ リブ

## 特集コーナー

1月

### 仏教美術に魅せられる

仏教を学ぶ方法にもいろいろありますが、みなさんはどこからアプローチしますか？

仏教美術にチャレンジするのもそのひとつでしょう。絵画や彫刻、建築など様々な文化遺産をとらえて、新たな視野で仏教を理解していくことができます。独特の造形美は仏教の発展とともに、様々な表情をみせてくれます。そんな仏教美術に関連する図書を展示貸出します。



2月

### 日本民俗学の大家たち

日本各地に残る伝承や年中行事、名もなき人々の暮らしや生き方をとおして、現代のわたしたちの生活の原点を学ぶことができます。それは歴史学ではなく、民俗学によって研究されてきました。日本民俗学の創始者とよばれる柳田国男から、南方熊楠、折口信夫、早川孝太郎、宮田登、谷川健一にいたる研究者たちの全集、著作集をはじめ、仏教民俗学の分野で活躍した高取正男、竹田聴洲、五来重の著作集までを展示貸出します。



3月

### 近代仏教の魅力

明治維新は政治だけでなく、宗教にまで大きな影響を及ぼしました。明治元年に公布された神仏分離令によって巻き起こった廃仏毀釈の嵐は、江戸時代から続いてきた仏教各宗派に打撃を与えます。その後仏教界はヨーロッパの近代学問の理論に立って、新たな教化布教の体制を構築し、その活動は社会事業によって開花します。仏教離れが叫ばれる現代社会に、魅力ある仏教とは何かを問い直してみませんか。日本の近代仏教を学ぶための図書を展示・貸出します。





# 開館カレンダー



【開館時間】 9:00 ~ 20:00

● 9:00 ~ 17:00 ● 9:00 ~ 21:00 ● 10:00 ~ 20:00

## 1月

1 (日) 休館日
2 (月) 休館日
3 (火) 休館日
4 (水) 休館日
● 5 (木)
6 (金)
7 (土)
8 (日)
9 (月)
10 (火)
11 (水)
12 (木)
● 13 (金)
● 14 (土)
● 15 (日)
16 (月)
17 (火)
● 18 (水)
● 19 (木)
● 20 (金)
● 21 (土)
● 22 (日)
● 23 (月)
● 24 (火)
● 25 (水)
● 26 (木)
● 27 (金)
● 28 (土)
● 29 (日)
● 30 (月)
● 31 (火)

## 2月

1 (水) 休館日
2 (木) 休館日
3 (金) 休館日
4 (土)
5 (日)
● 6 (月)
● 7 (火)
● 8 (水)
● 9 (木)
● 10 (金)
11 (土)
12 (日)
● 13 (月)
14 (火) 休館日
15 (水) 休館日
16 (木) 休館日
17 (金) 休館日
● 18 (土)
● 19 (日)
● 20 (月)
● 21 (火)
● 22 (水)
● 23 (木)
● 24 (金)
● 25 (土)
● 26 (日)
● 27 (月)
● 28 (火)
● 29 (水)

## 3月

● 1 (木)
● 2 (金)
● 3 (土)
4 (日) 休館日
5 (月) 休館日
6 (火) 休館日
● 7 (水)
● 8 (木)
● 9 (金)
● 10 (土)
11 (日) 休館日
● 12 (月)
● 13 (火)
● 14 (水)
● 15 (木)
● 16 (金)
● 17 (土)
● 18 (日)
● 19 (月)
20 (火) 休館日
21 (水) 休館日
22 (木) 休館日
23 (金) 休館日
● 24 (土)
● 25 (日)
● 26 (月)
● 27 (火)
● 28 (水)
● 29 (木)
● 30 (金)
● 31 (土)

※予定が変更される場合があります。図書館ホームページも参照してください。

### 後記

いよいよ平成24年(2012)の幕開けです。今年は『方丈記』の完成から800年を迎えます。日本三大随筆のひとつに数えられる、この作品を読み直してみるいいチャンスかもしれません。さて、みなさんにとってどんな年になるのかな? ワクワクしながら、そしてちょっとドキドキしながら、さあスタートしましょう!!



### 季刊『Lynzo』vol.6

平成24年1月1日発行  
編集・発行 佛教大学図書館  
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
TEL 075-491-2141(代) FAX 075-491-9042  
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/lib/index.html>

## りんぞーくんのおしゃべり

でも、ほくは隠れるところがなくて、ちょっと大変だけど……。

今年5月から1階が広くなって、閲覧機が増えて、学生さんもたくさん来てくれるので、うれしよ。

このりんぞーは、ほく「りんぞー」です。第3号に引き続きの登場です。

ねえねえ キッチーさん、岩波文庫が増えたね。

あ、りんぞーさん。今日はめずらしくお姿をみせたなあ。岩波文庫が増えたのがわかったんかいな。

それに北側に岩波文庫がきつり。

いつもほくを追いかけてくるキッチーさんに聞いてみよう。

岩波文庫はなあ、1927年昭和2年に発刊されたもので、日本の思想、古典文学、近代文学はもちろん、世界中のあらゆるジャンルの本を幅広く収めてるんや。

ほくが高校生の頃、先生がぜひ読みなさいって、みんなに言ってたわ。

へえ、おかしんだ。

それに、2階の入口もみてくれたかあ? 西洋の哲学、歴史、政治、教育、芸術、文学などの広い分野の本を翻訳した叢書「ユニベルシタス」を収集中なんや。

いま1000冊近くも出版されているんやで。

1000冊、うひゃー。

おかしやね。

読んでみよう。